

第3章 御幸公園の現状

1 御幸公園の概要

御幸公園は、昭和25（1950）年に開設され、幸区の都市公園の中では多摩川緑地の運動公園や夢見ヶ崎公園に次ぐ規模の面積30,028平方メートルを有しています。

公園の種別としては、住区基幹公園の中で一番規模の大きい地区公園として位置付けられています。昭和34（1959）年に御幸公園内に御幸球場が開設し、昭和53（1978）年に御幸球場にナイター施設が整備され、多くの市民に利用されるようになりました。

平成22（2010）年から2か年をかけた国土交通省の高規格堤防（スーパー堤防）工事によって現在の御幸公園の形状となりました。以前の御幸公園は、巨木化した高木が多い上に低い場所にあったため薄暗いイメージがありましたが、盛土と高木の伐採、多摩川とつながったことで開けた明るい公園となりました。



昭和14（1939）年 市撮影航空写真



昭和36（1961）年 市撮影航空写真



平成17（2005）年 市撮影航空写真

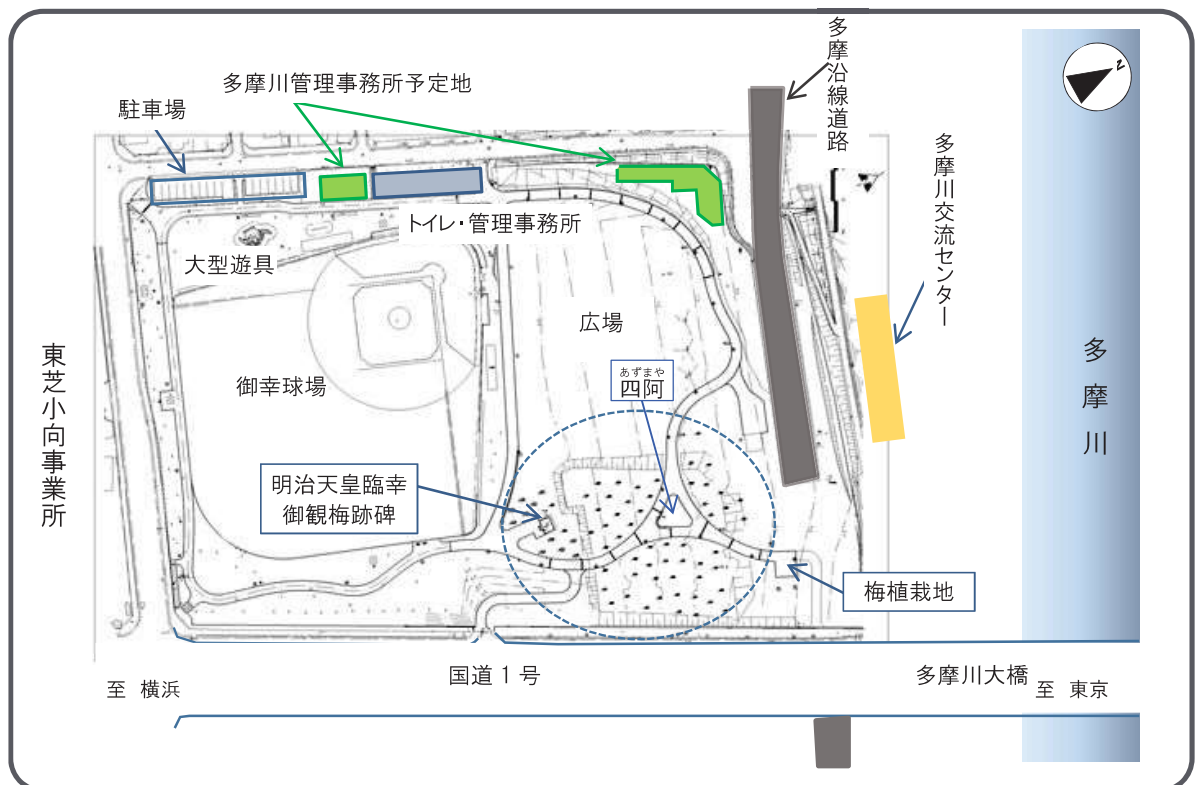


平成27（2015）年 市撮影航空写真

公園には、野球場（夜間照明付）や駐車場、広場、大型遊具、トイレ・管理事務所、園路、梅の植栽、明治天皇臨幸御観梅跡碑などがあります。

また、御幸公園は、地震災害及びその二次災害により、広域にわたって大きな被害が予測される場合、被害から逃れるための必要な面積を有していることから、地震等による家屋の倒壊及び火災の危険な状況が鎮圧するまでの間、避難する広域避難場所と位置付けられています。

御幸公園の施設



2 梅の植樹の状況

以前、明治天皇臨幸御観梅跡碑の横にあった御幸梅林の掲示板には、「昭和 15(1940)年付近に散在する七拾株ほどの梅樹をこの地域に集め植え替え、これを市営の梅林として昔をしのぶようすとして残した。」と記載されていました。

その後、国土交通省の高規格堤防（スーパー堤防）工事によって、すべての梅を仮移植後、現在の場所に植え替えられました。

平成26（2014）年時点で梅を確認したところ42本あり、平成27（2015）年度に新たに12本植樹し、合計54本が行幸の碑の周辺に植えられています（平成28（2016）年4月時点）。ただし、以前から植えられていた梅は、老木が多く樹勢が衰えている状況です。

平成28（2016）年10月に市民100万本植樹祭^{（※3）}が御幸公園で開催され、梅の高木5本（白加賀2本、豊後1本、鶯宿^{おうしゆく}1本、紅加賀1本）と梅の苗木100本を含む低木400本を植樹しました。



御幸公園での100万本植樹祭の植樹状況

※3 川崎市は、ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上などに向けて、「市民100万本植樹運動」を市制100周年の平成36（2024）年までの達成をめざして、毎年植樹祭を実施しています。（平成27（2015）年10月時点で約66万5千本の植樹実績）



御幸公園（撮影：平成28（2016）年5月）

うめかおるコラム 「梅林と文学」

田山花袋 「梅の南郊 一小向一」

当時の梅林の魅力について、田山花袋の「梅の南郊 一小向一」の一節には、「～六郷川（多摩川）に添った形がちょっと他の梅林に見ることの出来ない風致があった。梅は今では見るかげもないが、その上の土手から見た六郷川の風景は、丁度中川に似て、それで中川より変化に富んでいる。川の大きく折れ曲ってゐるさまも趣致がある。

白帆と梅林との調和も面白い。～ 」とあり、当時の梅林の面影を知ることができます。



大町桂月 「小向梅林の跡 南郊の梅一」

在りし日の梅林について、大町桂月の「小向梅林の跡 南郊の梅一」の一節には、「～三つ並び居りし梅園、一つ減り、二つ減り、終にこの春に至りて、残りし一園の梅も、富豪に買いとられて、みな横浜に行けりといふ。やれやれ、南郊の名勝、一つ減りたり。～ 」とあります。